

# PUPPY LOVE

R-18



あの時俺は

お前が後悔するのは勝手だけど

それ以上俺の大事な騎士を卑下するなら

お前自身だって許さない

俺は……

お前が一番のサーヴァントだって証明するためなら

なんでも使う

手間も惜しまない

あいつにひどいことしたんだ

何だってやっつけてやる

だからお前も

お前を信じる俺が間違っていないこと

だから、

勝って証明してみせろよッ!

だから……

# あらすじで分かる！ あらすじ

聖杯転臨には魔力供給が必要である。  
マスターはそれを知りながらも、セイバー・ランスロットに聖杯を7つもふち込んでしまう。  
やっとの思いでランスロットとの魔力供給を終えた彼だったが、  
奴が1回程度で満足するはずもなく、  
我々もまた、たった28ページの1冊程度で満足できるはずもなかったのである——



ランスロット(剣)

Lv100 宝具Lv.5 絆Lv.10の非童貞。  
マスターの好きなところは、  
控えめに触れてくる手、  
まっすぐに見つめる瞳、たまに見せる笑顔、  
美味しそうに食事を頬張る口、  
いつでもふわふわの髪、  
寝起きの湿ったにおい、寝心地の良い床



マスター(♂)

目が死んでいるがわりと元気な童貞非処女。  
ランスロットの好きなところは、  
電源コードに引っかからないところ。



ごめん  
ほんとに

申し訳無い



いいえ、  
そんな

貴方が  
謝ることは  
何ありません

いや、  
でも、



知らなかった  
とはいえ

聖杯ひとつにつき  
1回魔力供給  
しなきゃいけない

…なんて  
後出して  
言われたら  
嫌だろ

計7回だぞ!?



ええ

そして  
週に1度しか  
意味が無い  
ようなので

あと6週間  
ですね

~~~~~

ごめん……

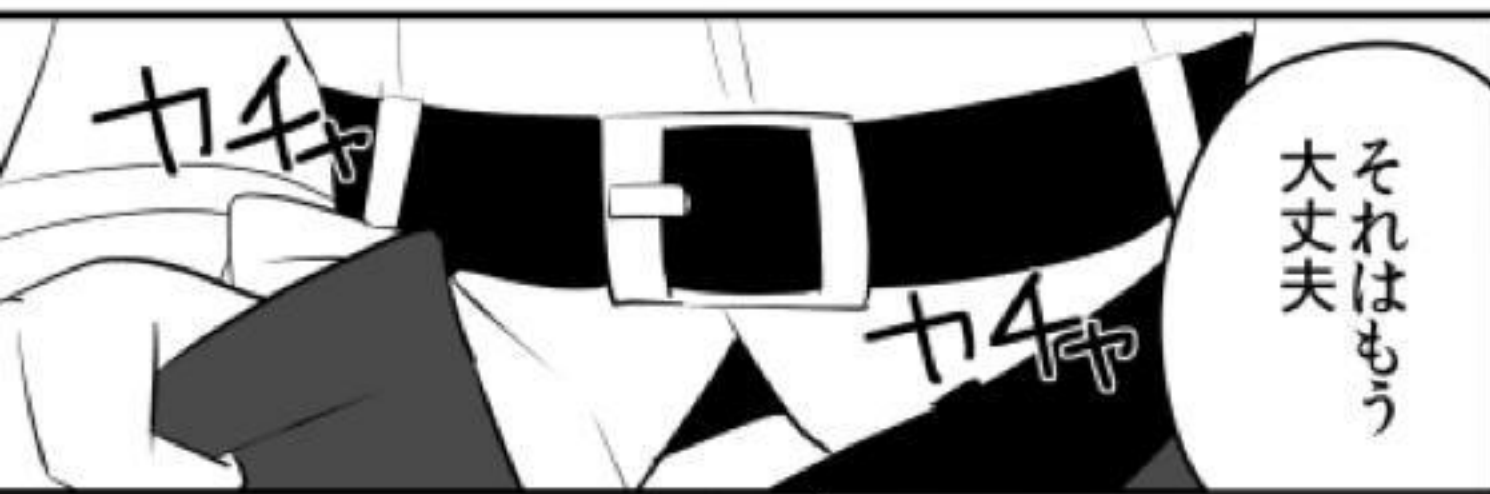


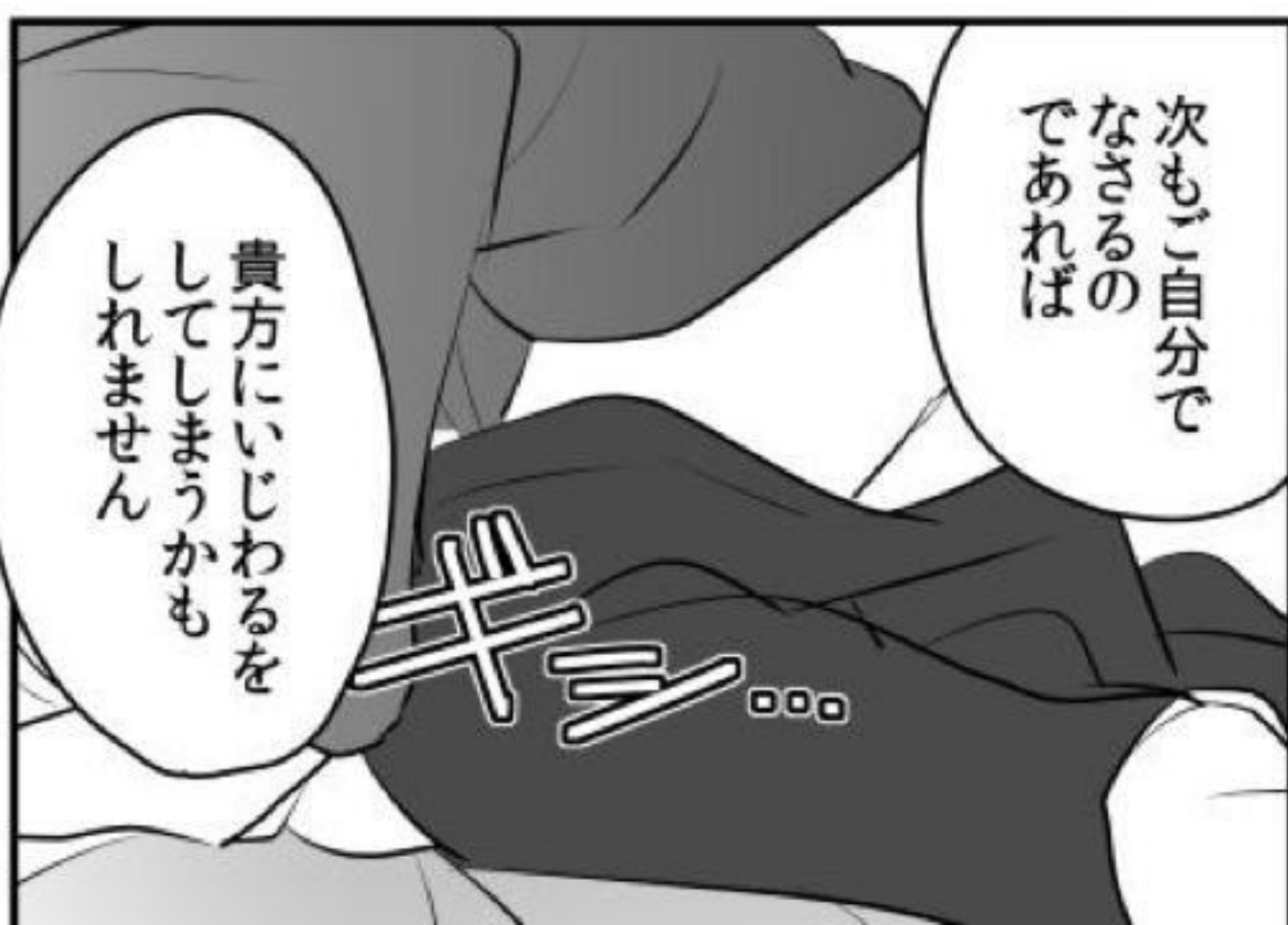
むしろ  
僥倖ですとも

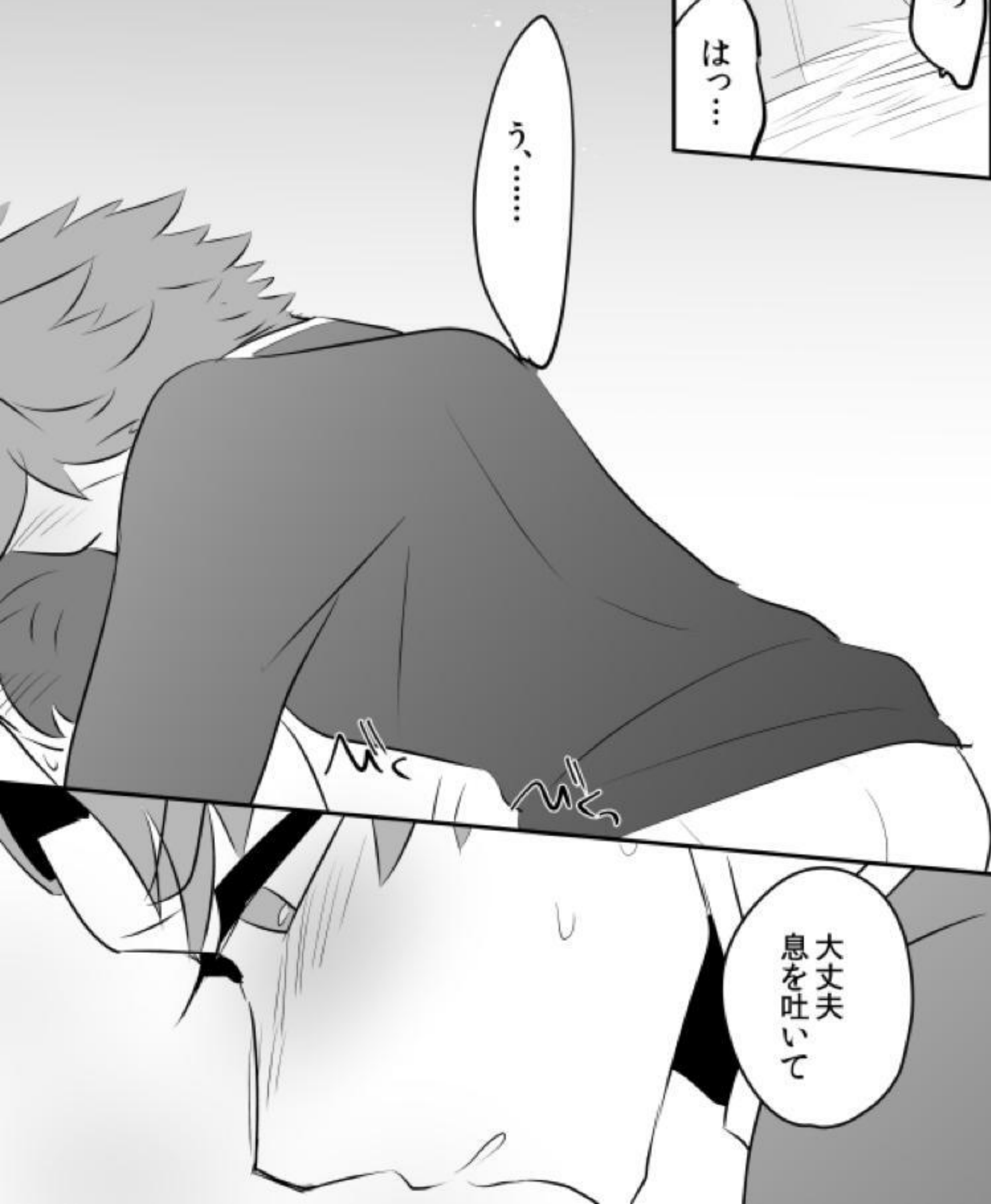
また貴方と  
こうしたかった

あと6回は  
堂々とできる  
のですね

なんでこの騎士は  
こんなに嬉しそう  
なんだろうか……









はっ…

だんじょう  
へーきし……

こんなに  
おつきかった  
かな

はっ  
って、

びつくりした  
だけ、

だから……



うんっ…

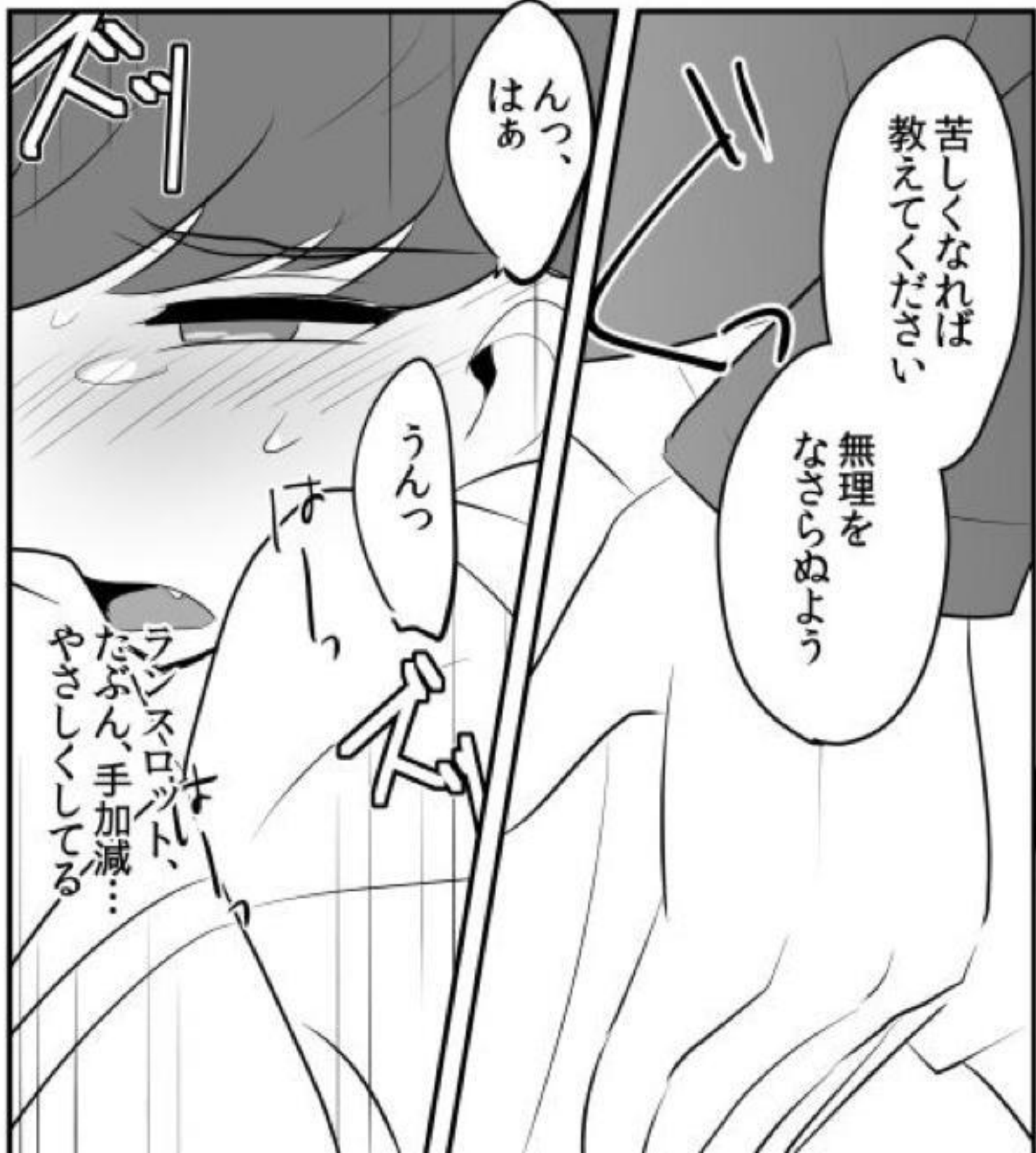
ランスロット  
あつたかい  
やさしい…



先日何度も  
入れたものと  
同じです

大丈夫

はいじよぶ、



苦しくなれば  
教えてください

無理を  
なさらぬよう

はんっ、  
はあ、

うんっ

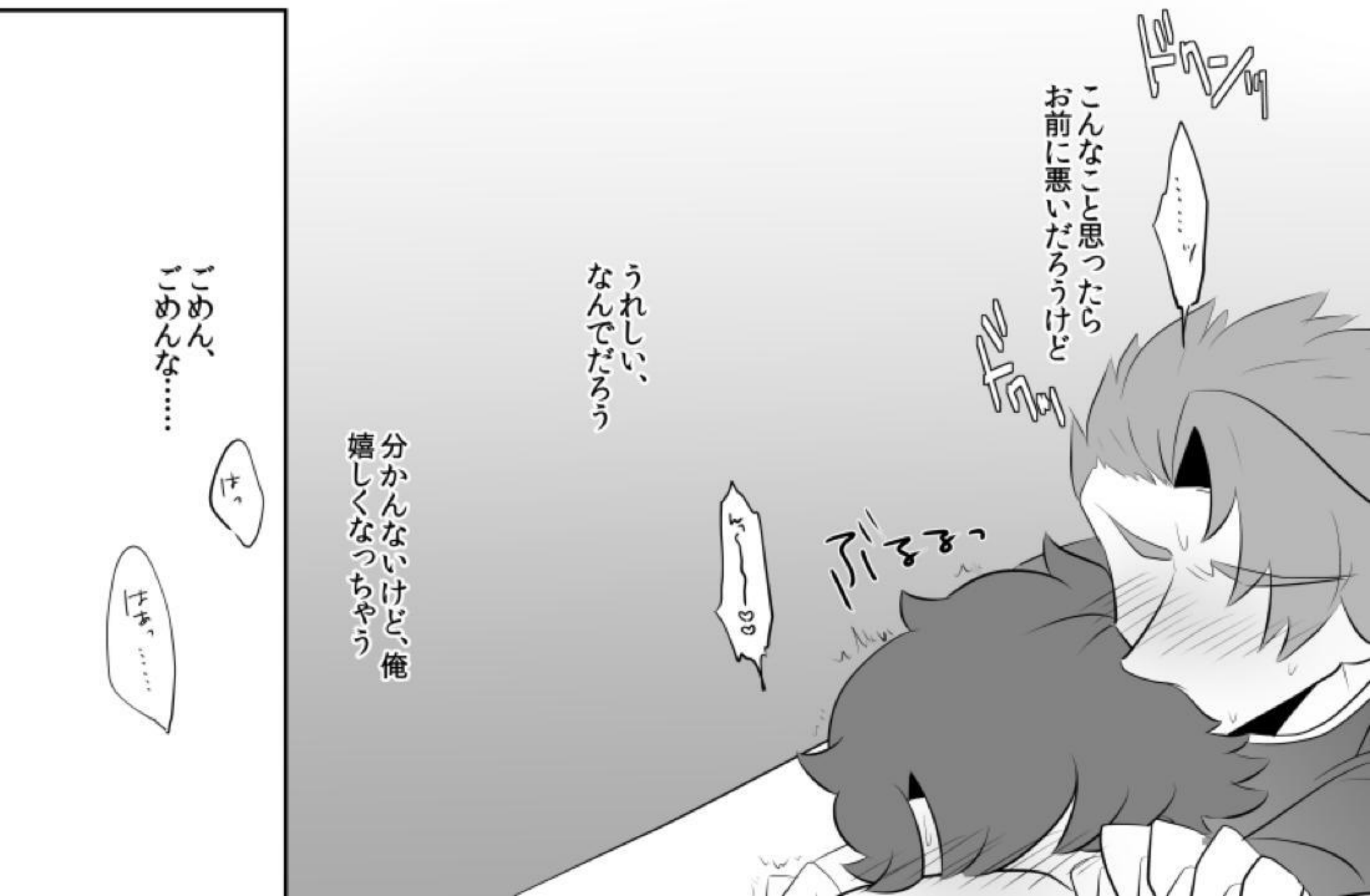
ランスロット、  
たぶん、手加減…  
やさしくしてる



はいじよぶ  
だから

んっほら  
動いて……







なに

話って

ああいえ、  
改まったこと  
ではなく

最近、貴方と  
ゆつくり話す  
機会が取れず



ああ、  
そういう……



寂しくなって  
しまいました



以前は毎夜、  
こうしてお話し  
していました

貴方の部屋で、  
私の部屋で

食堂で、  
廊下で……

…私は何か  
気に障ることを  
してしまっただ  
けでしょうか

嫌われて  
しまったか  
でしょうか



やはり、  
魔力供給が……

違うッ！

嫌いな  
わけない！

ち、  
ちがうんだ

俺が、  
悪くて、  
その……

ギョ



それで、  
その

しなくて  
いいのに…

したく、

なつちやう  
んだよ



あ、あのな

俺、最近お前と  
ふたりでいると

思い出し  
ちやつて…



今だけ  
じゃない

俺、オナニーの  
たびにここが  
むずむずして…



…マスター

それは…

こ、こんなの  
変だ…

来週まで  
しなくても  
いいのに



ランスロットと

また、したく  
なつちやうんだ…









今日、  
このまま  
してほしい

ちゅーしながら  
してほしい

んだけど



んっ、  
マスター

後ろを…

な、なあ



……  
もちろん



魔力供給  
じゃないなら

ちよつとは  
俺のしたいように  
してもいいだろ…？



ではこのまま  
いれますっ……

んっ……



はあ、  
ありがと...♡

お前も、

お前の  
したいように  
していいから  
なっ.....♡

ふっ

るっ



貴方の可愛らしい  
顔を見ながら  
したかった

貴方と口づけを  
交わしながら  
したかった

あ

あ



私の願いも  
貴方と同じです

また、  
最初のように

はっ

はっ



だいじよ、  
ぶっうう♡

すっごい  
きもちいからあ♡

んっ



体勢、お辛く  
ありませんか？

んっ、  
んっ♡

んっ

んっ

んっ







変では  
ありませんとも

今もです

貴方と  
同じだ

私も、貴方と  
こうしている時  
いつも嬉しかった

んなの…



でも、  
おんなじなら  
いっか……？

ええ…！



……ああ、  
困りました  
マスター

んっ？  
んっ？



んっ、  
んっっ♡

んっ♡

んっ♡

これは魔力供給  
ではないので

中に出す  
意味はない  
のですが……

いみ、  
なくないっ♡

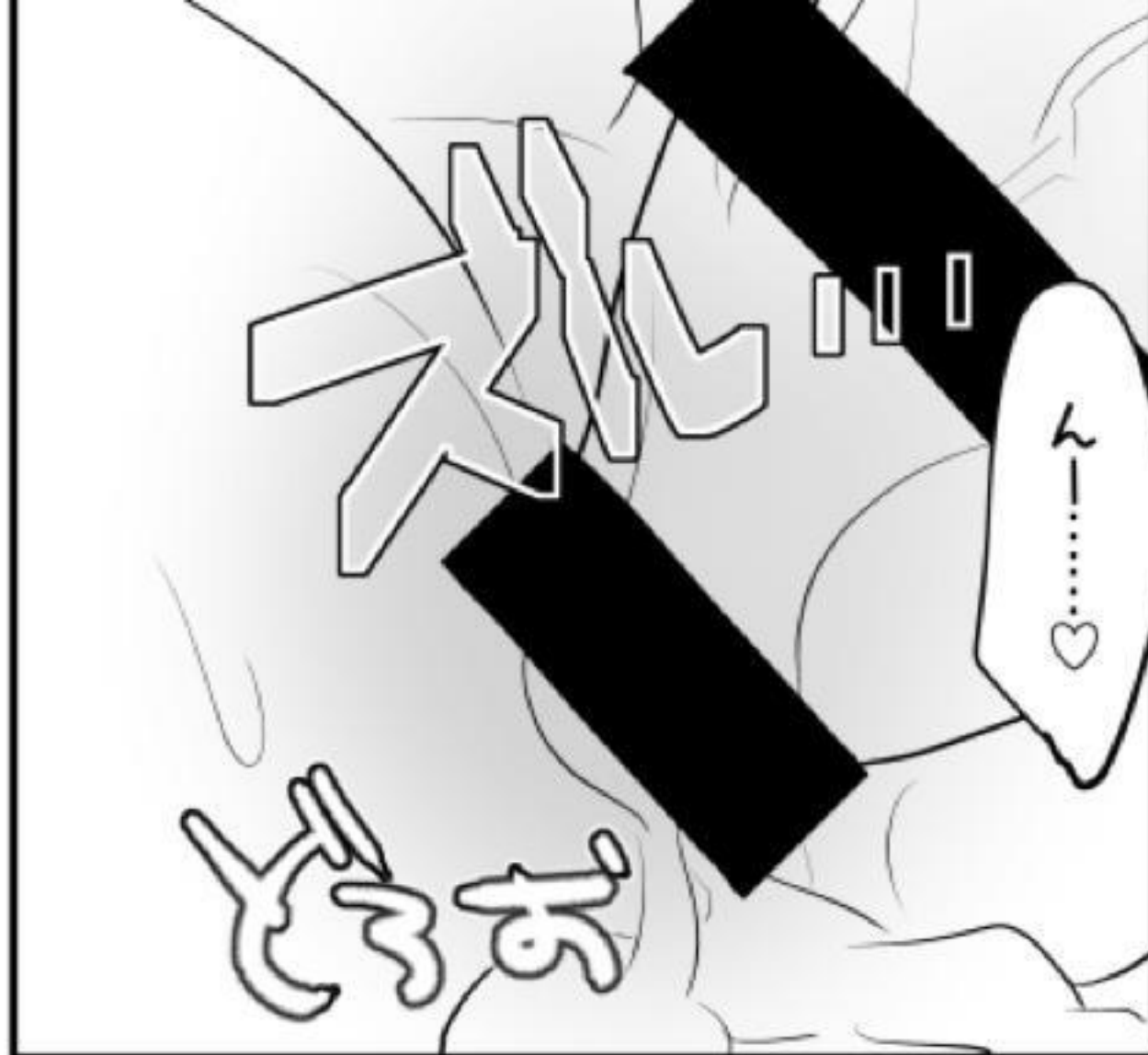
おれ、おめえに  
中出しされるの、  
好きだからっ……♡♡

ああ……  
困った人だ……ッ！

♡♡♡♡♡

いっばい  
♡♡♡♡♡

あ、あ……♡♡



でも……

やっぱり  
変だよな

おまえと  
セックス  
したいとか

中出しされて  
嬉しいとか

べつにそんなこと  
しなくたって  
お前と一緒になら  
いつも嬉しいのに

なんでだろう  
分かる？

お前も、俺と  
セックス、  
したかったって

してて嬉しい  
って言ってた

なんで？

何故……  
とは……

マスター……

そんな  
私は

以前貴方に  
気持ちをお伝え  
したはずでは……



マスター！

うわっ

びつくりした  
なんだよ



いいや……  
今考えるとあの時の  
マスターが私の言葉を  
明確に理解できる  
状態だったとは思えない

あれでは  
伝えていない  
のと同じ……



私は  
なんという  
ことを……

やはり  
はじめから  
確実に  
お伝えする  
べきだった……！



ああっ  
なんという  
ことだ！

おい、  
大丈夫かよ

おかしいと思ったのだ、名目があった  
とはいえ五度の性行はどれも思いの通  
じ合った者同士とは思えぬ遠慮があった。  
そもそもマスターはあの時私ではなく私  
の行為に好きだと言ったのではなかったか？  
だとすれば思いが通じるどころか完全に私  
の一方通行ではないか……！しかも何も告げず  
行為だけが先走り、六度もマスターを、



は？？  
何は？？

大好きな貴方に  
また叱られて  
しまいます



ですが……

後悔するより今、  
お伝えしないと



貴方が本当に  
大切です

マスター



無駄な  
ようです

どんな  
言葉でなら  
伝わるか

これは  
恋などでは  
ありません

愛と呼ぶ  
だけでは  
足りません

考えた  
のですが

私に文才は  
ありませんので



何と言え  
ばよいのか  
わからないほど

貴方の全てが

その、  
好きなのです





あの時のこと  
覚えてる  
じゃんか!

当然です

忘れ難い  
出来事でした

ぶつたこと  
根に持ってる  
のか?!

ああ、いいえ、  
そうではなく

本当に  
嬉しかった  
のです

貴方の信頼に  
必ず応えようと  
決めました

その証拠に  
まだ一度も  
負けたことは  
ありません

だから貴方にも  
信じていただきたい

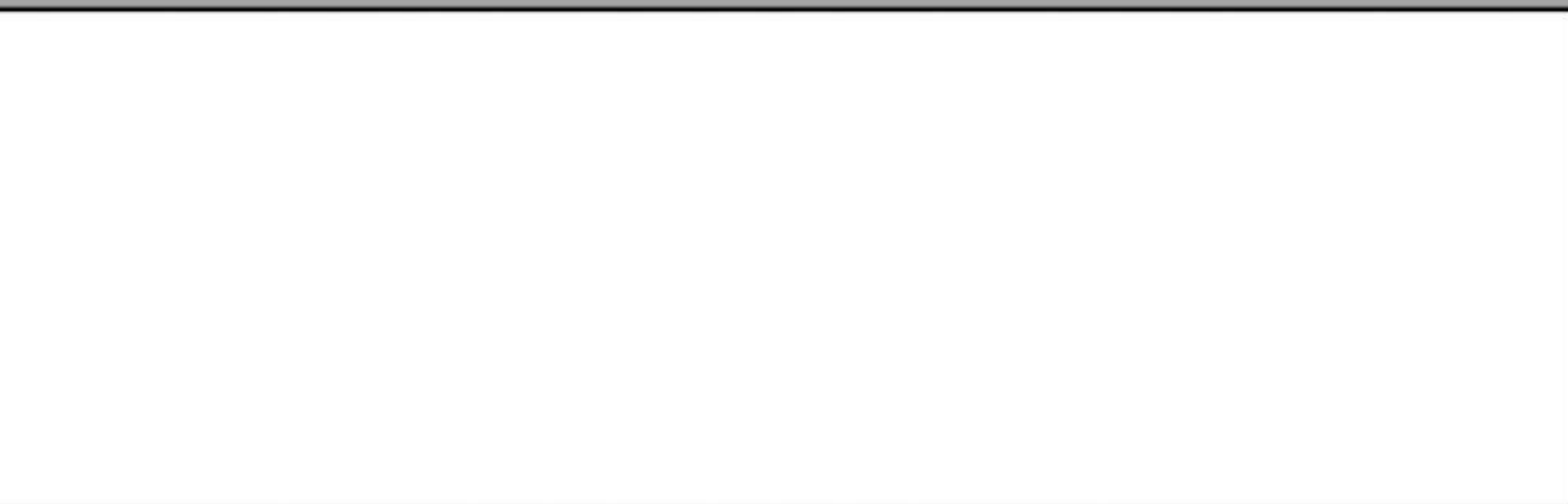
う……



そっか.....

俺と  
同じで、

よかった……





私を含め  
サーヴァントは皆  
座へと還ることに  
なるでしょう

……うん



……まじでいき

査問官が  
来ます



それでも  
私と貴方は  
やりとげた



だから、  
魔力供給を  
やりきる必要は  
なかった

どちらにせよ  
私は貴方の前から  
消えるのだから



……後悔して  
いませんか？

ん？



……ああ  
絶対  
いつか別れは  
やってくるんだ

家族もペットも  
サーヴァントも



なら別に  
お前が一番でも  
何も問題無いだろ

私達  
サーヴァントは  
現世に映る  
幻です



お前が幻でも  
俺が感じた気持ちは  
全部本物だよ



ああ、  
本当に……



俺も、  
お前と一緒に  
いられて

ほんとに  
よかった



あなたと  
出会えて

共に過ごさせて  
本当によかった



だから、

だから……



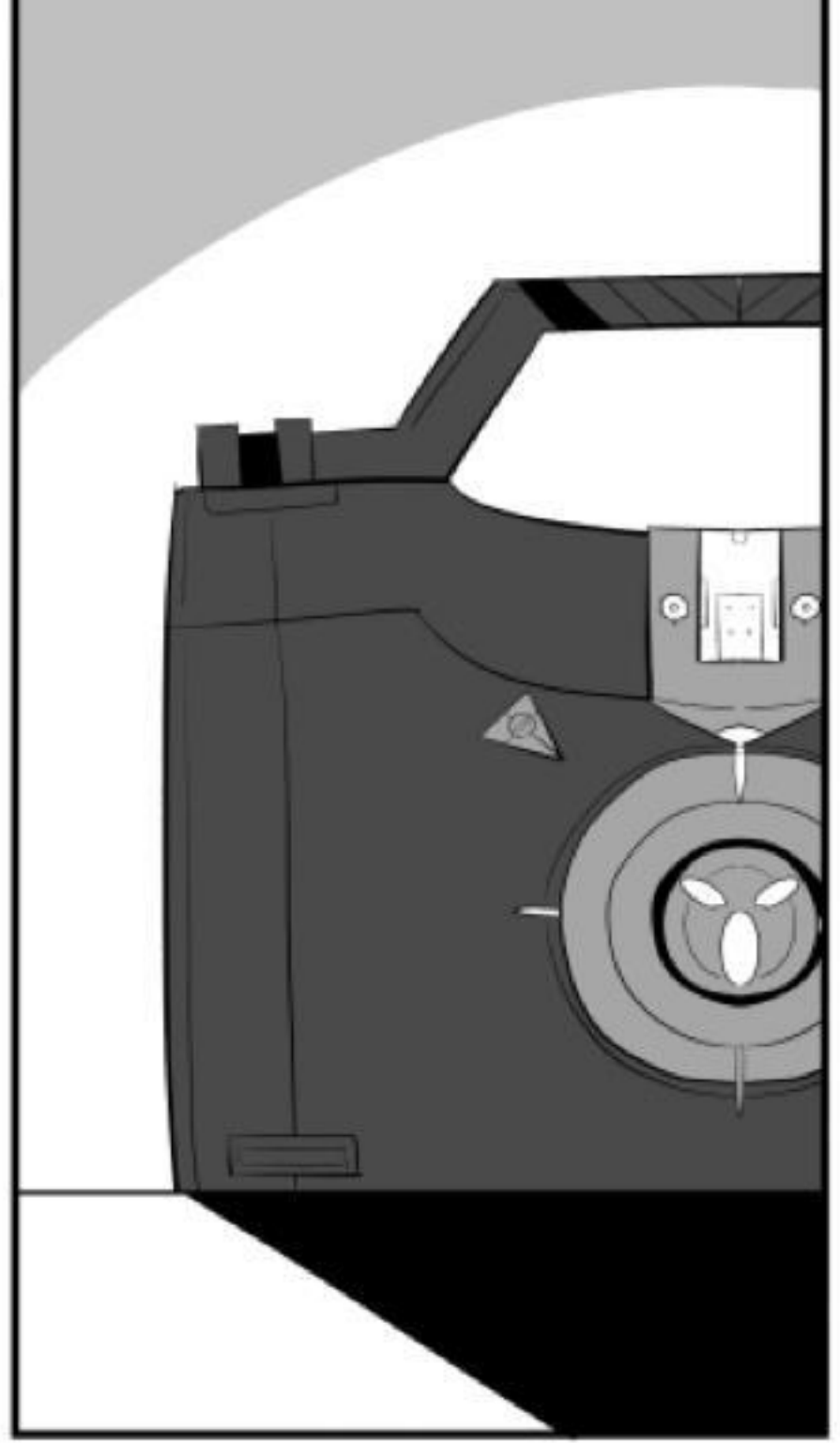
離れたくないよ、

ランスロット……

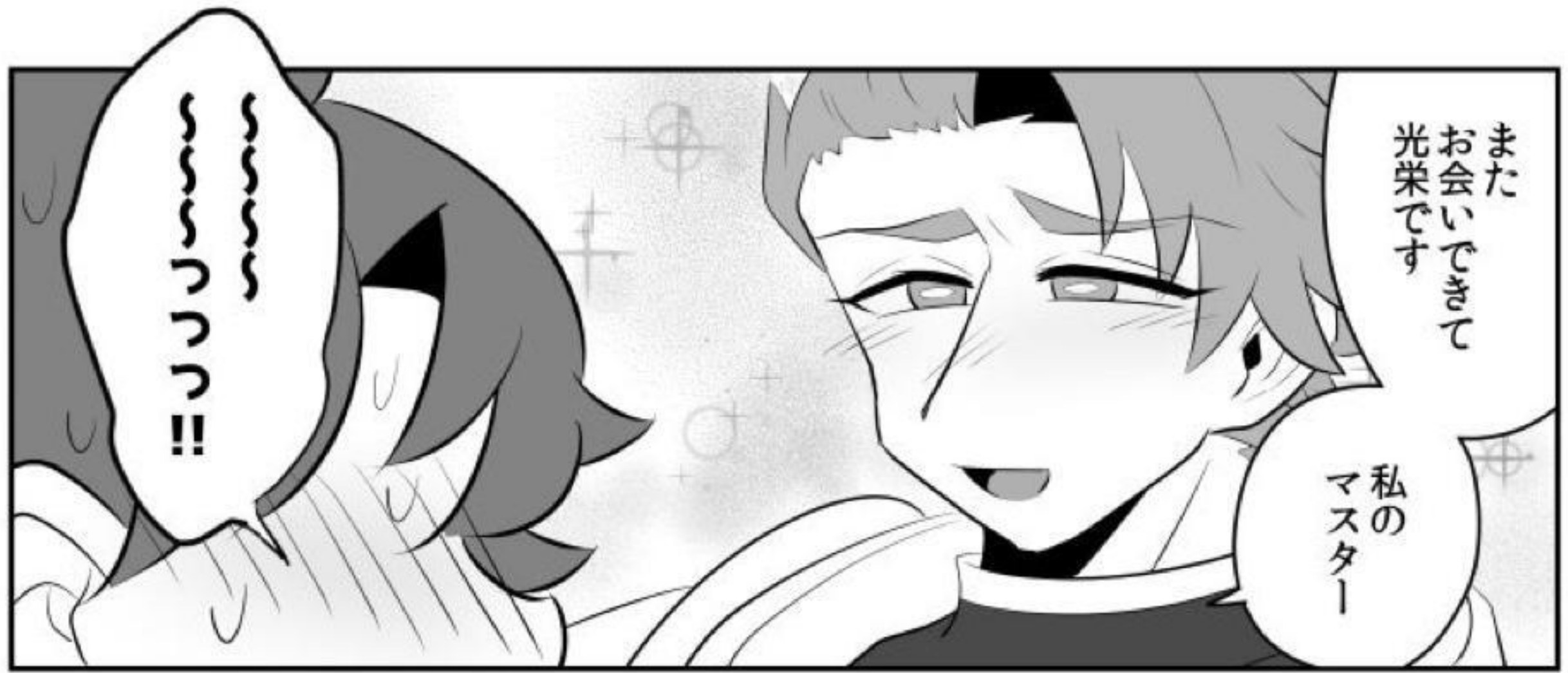
マスター

私の特別な方

ありがとう  
どうか、健やかに







また  
お会いできて  
光栄です

私の  
マスター

~~~~~!!



お、  
俺も……

また会えて、  
嬉しいよ……

しかし……  
大変なことに  
なってしまい  
ましたね

あー  
まあ……

お前がいれば  
なんだって  
大丈夫だろ  
多分

私も、  
貴方とであれば  
何だって大丈夫  
だと思います

お互いが一番大好きで特別と認識しあっただけで、奴らは何も変わることなく  
ほかに名前もつけず、マスターとサーヴァントという関係のまま  
終わりまでの短い旅を一緒に行くんだろなあ(他人事ポエム)  
わたしはそういう関係が好きなんですけど、どうですか？あんまり？普通？？

毎度話の行間ガバガバで申し訳ないですが、要は顔をいっぱい描きたかっただけなので  
話なんて適当に流してとにかく奴らのいろんな表情を見てください。

お手に取って下さりありがとうございました。  
少しでもおたのしみいただけたら幸い。

発行日：2018年3月25日 第12次R00T4to5  
発行：シルペットロジック / 奈佳川  
web：http:akaaaaa.web.fc2.com/  
mail：anyu\_horn@yahoo.co.jp  
twitter：nakaggggg  
印刷：サンライズ様